

評価項目	評価指標	具体的方策	評価基準				中間評価				
			4	3	2	1	評価	成果○と課題▲	改善策	委員からのコメント	
確かな学力の育成	各種学力調査で全国平均値を超えることができる。 3年：全国学力学習状況調査 1年,2年：CRT【国社数理英】	<ul style="list-style-type: none"> <li>全教職員で本校の課題を共有化し、個に寄り添った学習支援をするために、「学習定着週間」や長期休業中の補充学習を行う。</li> <li>国・数・英3教科の家庭学習ノートの取組を行い、授業で学んだことを繰り返し学習させたり、振り返りを行わせたりしていく。</li> <li>各種テストにおいて、生徒実態を把握し、PDCAを行い授業改善につなげる。</li> </ul>	全国平均を上回る教科の割合	80%以上	60%以上	40%以上	40%以下	4	※1・2年生の標準学力調査は12月実施予定 ※全国学力・学習状況調査の結果 各教科の平均正答率 国語75% (+6) 数学57% (+5.6) 理科52% (+2.7) ○今年度実施された国語・数学・理科の3教科とも全国平均を上回ることができた。 ○無解答率の全ての教科において全国平均よりも低く、難問に対しても粘り強くあきらめずに取り組む姿勢がついてきている。 国語1.1 (▼3.2) 数学1.5 (▼9.3) 理科0.3 (▼3.1)	<ul style="list-style-type: none"> <li>家庭学習ノートとHR学習をリンクさせる取組を2学期からはじめた。家庭で学習したことを次の日のHR学習で確認するというサイクルをつくって、家庭学習のさらなる充実を図っていく。</li> <li>各教科の定期テストの内容のレベルアップを図っていく。今求められている学力の定着を図れるようなテストにしていくため、『全国学力・学習状況調査』や全国の公立高校の入試問題等を参考にした問題作成を行う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>具体的方策のPDCAサイクルを期待しています。特にスパイラルにアップしていくことが大切でしょう。</li> <li>12月での調査での成果に向けて取り組まれています。</li> <li>少しずつでも継続して学力向上できるようにPDCAのCとAに重点を置いた施策の展開をお願いします。</li> <li>良くも悪くも平均的な生徒が多く見受けられる。全体を底上げできるようにお願いします。</li> </ul>
豊かな心の育成	生徒の自尊感情を高める肯定的な回答を全校で80%以上にする (QUアンケート「みんなのためになることを自分で見つけ実行している」項目)	<ul style="list-style-type: none"> <li>あらゆる教育活動において、生徒がポジティブに自己を捉えるよう、タイミングの良い肯定的評価を学校、保護者、地域が一体となって行う。</li> <li>体験活動の意義を説明し、生徒に意欲を持たせる。</li> </ul>	第2回QUアンケートの肯定的回答の割合	80%以上	70%~79%	60%~69%	60%未満	4	肯定的評価の割合 全体80.9% (全国76.3) (1年 83.4 2年 78.7 3年 80.1) ○全学年とも肯定的評価ををする生徒の割合が、全国平均を上回っている。 ▼全国平均は上回ることができているが、昨年度の調査より7.7ポイント肯定的な回答をした生徒の割合が下がっている。	<ul style="list-style-type: none"> <li>様々な体験活動を少しずつ林方コロナウイルスの感染が広まる前の状態に戻ってきている。感染対策を徹底した上で、自己肯定感の高まるような活動を行っていききたい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>具体的方策は生徒が決めることが必要だと思います。</li> <li>自尊感情が全体的に高めていただいています。その一方で低いままの生徒への取組もよろしくをお願いします。</li> <li>全国平均を上回っており、成果は出ていると思います。</li> <li>生徒会執行部の活動は良いが、普通の生徒の活動の場を・・・。</li> </ul>
健やかな体	体力テストで、体力項目の80%以上、全国・県平均を上回る	<ul style="list-style-type: none"> <li>各自目標値を持って取り組ませる。</li> <li>弱点補強を授業とリンクさせる。</li> </ul>	全国・県平均を上回った項目の割合 (全48項目)	80%以上	70%~79%	60%~69%	60%未満	—	※今年度の調査結果が公表されていないため、全国・県平均との比較はまだできていない。	<ul style="list-style-type: none"> <li>コロナ禍で体育の授業や部活動などで制約が多いが、工夫して基礎体力の向上に努めていく。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>期待しています。</li> <li>全国・県との比較向上を計ってください。</li> <li>年度末評価での成果を期待しています。</li> <li>コロナ禍でやむなしと思います。</li> <li>コロナで外での活動が制限されているので工夫した活動をお願いします。</li> </ul>
信頼される学校	保護者アンケート項目「子どもの学校の現状について」の満足度が昨年度を上回る。	<ul style="list-style-type: none"> <li>OHPや学校だより等で、学校の取組や、やりきる生徒、関わりきる教職員の姿など、前向きな姿を発信する。</li> <li>○学校行事や日々の活動について生徒目線での記事を盛り込んだ親しみやすいホームページを20回以上更新する。</li> </ul>	①保護者アンケートの結果 (肯定的回答) の割合	すべての学年が昨年度以上	どの学年も昨年度が未満足はなし	昨年度と同じ	昨年度を上回ることができない	3	保護者アンケートの肯定的評価の割合 全体 (88.1%) 昨年度83, 7% 1年 (81.8) 2年 (90.0) 3年 (91.2) ○2・3年生については、昨年度より満足度が上昇している。 ▼1年生の満足度が他学年に比べて大きく下回っている。	<ul style="list-style-type: none"> <li>文化祭など地域・保護者の方々に学校の様子を直接見ってもらう機会をつくる。</li> <li>HPの更新回数等は昨年度より回数は増加しているが、もっと閲覧回数が伸びるように学校だより等を通してHPを見てもらえるような工夫をしていく。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>親しみやすいHPをお願いします。</li> <li>教育委員会と学校との基本的なPDCAを回すことが必要でしょう。</li> <li>コロナ禍での休みの職員のフォローが大変かと思えます。</li> <li>保護者・教職員が力を合わせ頑張ってください。</li> <li>生徒の人生の中で、先生との信頼関係が一番重要な時期だと思います。多忙な業務の中、大変でしょうが、少しでも生徒に向き合う時間とっていただくようお願いいたします。</li> <li>先生方には早く退校できる仕組みの構築が必要ですね。</li> <li>コロナ前に比べると保護者と学校・教師の距離感が遠ざかっている。HP・メール等での発信で少しでも距離を縮めてください。思春期の多感な年齢ですので小さな変化も見逃さないようにお願いします。</li> </ul>
	教職員アンケート項目「生徒と向き合う時間が確保できている」の割合を80%以上にする。	<ul style="list-style-type: none"> <li>○今年度、組織の見直しを行い、業務の効率化をめざす。</li> <li>○週1回の定時退庁日を設ける。</li> </ul>	教職員アンケートの肯定的回答の割合	80%以上	79%~60%	59%~50%	50%未満	2	▼「生徒と向き合う時間が確保できている」と肯定的な回答をした教職員は58.3%であり、昨年度 (61.1%) より少し下がっている。	<ul style="list-style-type: none"> <li>これから冬期に入り、生徒の下校時間が早くなるので、部活指導終了後の時間を有効に活用し、早期退校ができるようにしていく。</li> </ul>	